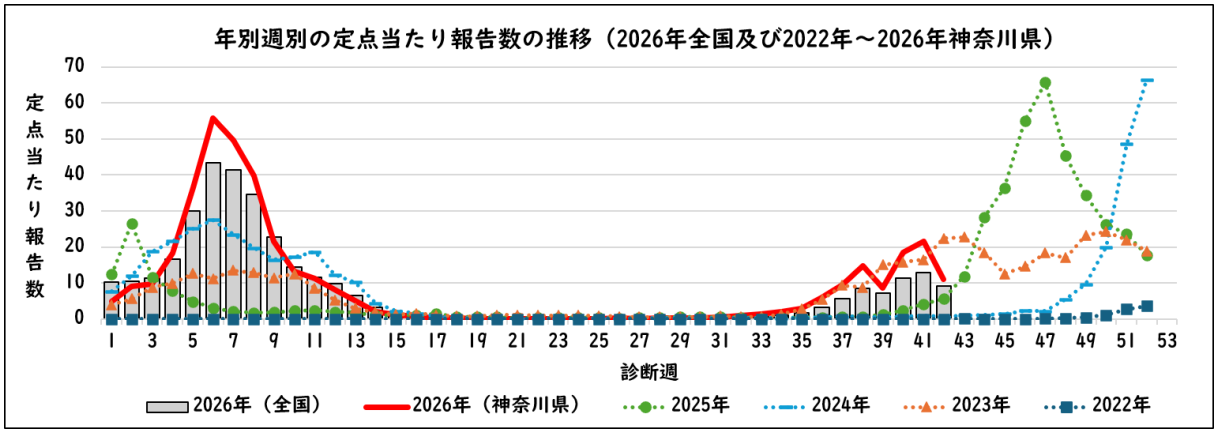
2026 年 11月2日発行
神奈川県衛生研究所

神奈川県 インフルエンザ情報（10）42 週

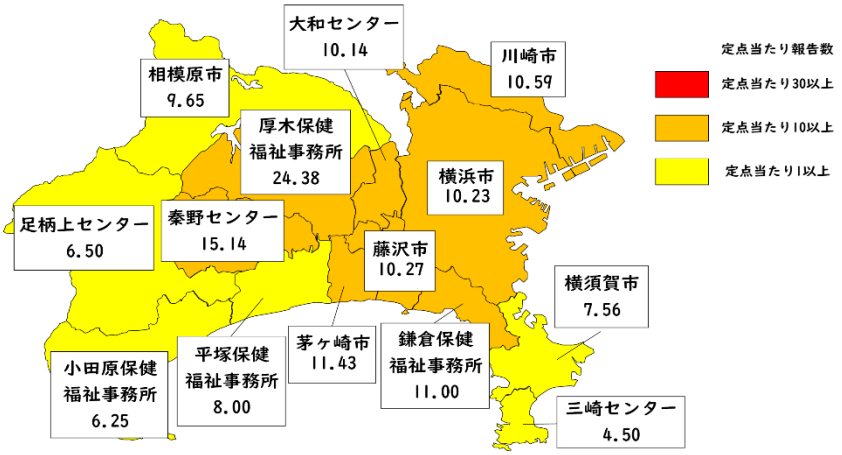
神奈川県では、第 38 週(2026 年 9 月 14 日～9 月 20 日)にインフルエンザの定点当たり報告数が 14.71 となり、注意報レベル（定点当たり報告数 10.00）を超えました。第 42 週（2026 年 10 月 12 日～10 月 18 日）の定点当たり報告数は 10.92 でした。なお、第 42 週では、インフルエンザウイルスの感染を原因とする急性脳炎の届出が 1 例ありました。ここでは、県内の流行状況などについてご紹介します。

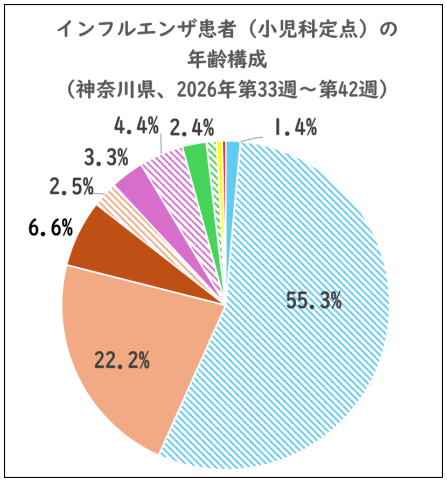


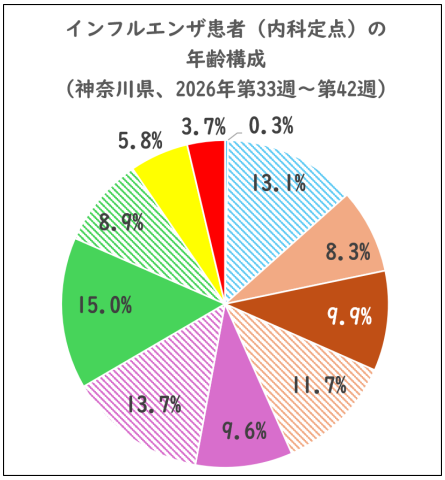
※年末年始やゴールデンウィーク、お盆、シルバーウィーク等では、定点当たり報告数が減少する可能性があります。

（1）県内の流行状況について（第 42 週（2026 年 10 月 12 日～10 月 18 日）時点）

県内の流行状況について、地域別および年齢別に示します。





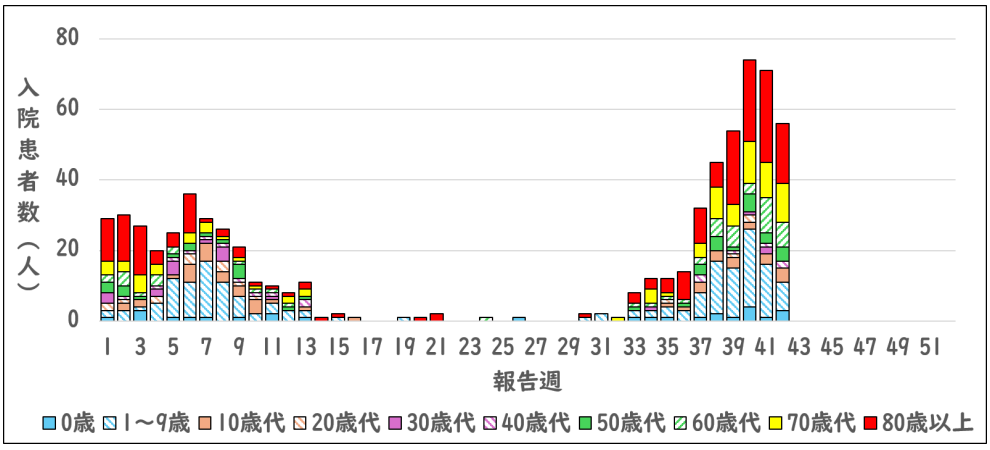




※四捨五入等の端数処理により、円グラフの合計は 100%にならない場合があります。

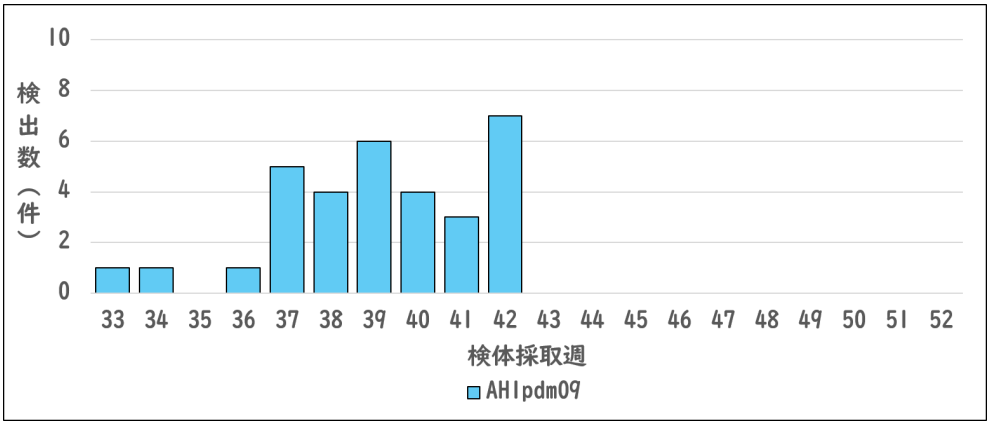
(2) 入院患者数※について

入院患者数は、第 42 週に 56 例の報告がありました。年齢の週別推移をグラフに示します。
※入院患者数は、県内 12 か所の定点医療機関から毎週報告されています。



(3) 病原体サーベイランスについて（2026 年 10 月 30 日時点）

神奈川県衛生研究所では、医療機関の皆様に採取していただいた検体について病原体検査を実施し、現在流行している病原体の検出状況や特徴を監視（サーベイランス）しています。



急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス（ARI サーベイランスが始まりました！をご覧ください）におけるインフルエンザウイルス検出状況をグラフに示します。

インフルエンザについて

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスが原因となる感染症のことです。発熱や頭痛、咳などが主な症状になります。稀ですが、脳炎を伴うと高熱や意識障害、痙攣などが出現します。

主な感染経路として、インフルエンザウイルスに感染した人の咳やくしゃみからの感染（飛まつ感染）や、ウイルスが付いた手で口や鼻、目に触れることによる感染（接触感染）があります。

予防接種は発症や重症化を予防するのに効果的です。また、手洗いの際は、せっけんやハンドソープを使いましょう。アルコール（消毒用エタノールなど）も併用するとより効果的です。

以下に参考リンクをご紹介します（2026 年 10 月 30 日アクセス）。

- 厚生労働省：インフルエンザ（総合ページ）
- 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：インフルエンザ
- 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）